

第91回 仏教公開講座

生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2012年1月20日(金) 午後6時30分～8時30分	
講 師	尾畑 文正 氏(同朋大学長)	
講 題	『世のいのりにこころいれて—生きることと死ぬこと—』	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈(同朋奉讃式)
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



講師紹介

尾畑 文正(おばた ぶんしょう)

1947年 三重県四日市市に生まれる。同朋大学仏教学科卒業、大谷専修学院修了、大谷大学大学院博士課程満期退学。真宗学専攻。

現在、同朋大学学長。真宗大谷派泉称寺住職。

著書：『真宗仏教と現代社会』(福村出版) 『浄土論註に学ぶ』(真宗大谷派出版部) 『親鸞聖人の手紙から』(真宗大谷派出版部)

※先生の著書『真宗仏教と現代社会』(福村出版) を受付にて販売しておりますので、
『親鸞聖人の手紙から』(真宗大谷派出版部) 是非ご購入ください。

先生からのメッセージ

ガンジス河の岸辺に佇んで、露天で焼かれる遺体を見つめながら、生まれ老い病み死んでいく自分を考えた。しかし、その生老病死は決して個人的にあるだけではない。世界的な意味を持っている。自己を問うことと世界を問うことが重なっている。東日本大震災、更には原発事故における生と死を通して、あらためて、人が人として本当に生きるとは、どういうことであるのかを考えてみたい。

いつでも・どこからでも聞ける "テレホン法話" お電話ください。Tel.058-265-0033